



# 碧南ロータリークラブ週報

## 第2168回例会 平成15年3月19日(水) 曇.最高12℃.最低5℃

- 会長 長田 昌昇 ● 幹事 平岩統一郎 ● SAA 亀山 裕一
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 ☎ 447-8501 碧南市源氏神明町90番地  
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 加藤知彦・竹下 豊・竹内光博・新美惣英



### ● 齊唱

ロータリーソング「今日も楽し」

### ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

### ● 本日のお客様

西尾RC 岩瀬 正範君

### 会長挨拶

最近読んだ記事の中で、気になるところがありましたので、その内容をご披露して、いささかの問題を提起出来ればと思います。「歴史の教訓」、と言うテーマで著者は上智大学 渡辺昇一名誉教授です。

前書きを読んでみます。「古代ローマ帝国は一度も外敵に負けなかった。だが帝国は消えた。ローマ人が居なくなつたからである。

日本も今、急激な少子化の波に洗われ、ローマ帝国と同じ轍を踏みそうな予感がある。こうなったのは長期的な視野を失い、場当たり的な対応になっているからである。そしてその底流にあるものは先祖を敬い、子孫に配慮する系図意識、家意識の喪失がある。

そのためになすべき事の一つは、本当の金持ちをつくることである。具体的には、私有財産を否定するかのような相続税を、最終的にはゼロにする方向で改善していく事である。」興味のある方は、月刊誌「致知」3月号を読んでみて下さい。

皆さんも御存知のように、日本の人口は現在1億2千万人で、これを維持するのには、2.08人の出生率が必要です。ところが、01年において1.33人で、今後もこの推移をたどれば、06年の1億2千7百万人をピークに減少に向かい、50年後には1億人を割り、100年後には6千4百万人となってしまう。

しかもその内容は5千万人が老人で青壯年は1千万程度になってしまうことになる。出生率1.33人が動かなければ、この事は天気予報占いと違って予測ではなく、確実に訪れる現象である。科学がどれ程進歩したとしても、18歳の子供が生まれることはないので、大変に深刻な状況だと思いますが、実際にはそれほど身近な問題として認識されているように思われる。外国人労働者が増加定着し、日本人と文化が呑み込まれてしまう図式が想起されるのです。



卓話講師 横原義嗣会員



中島 良副会長

ロータリーも現在は健全な青少年の育成をテーマにしていますが、その内に、こんな言葉はありませんが青少年の子供を増やす生成がテーマになる日も近いのでしょうか。

相続の時にあちらこちらから奥様の知らない子供が現われるようなことを薦めているつもりはありませんので、誤解なきように願います。

## 幹事報告

他クラブ例会変更等はお手許資料の通りです。(時間など詳細は各クラブにお問合せ下さい)

- ①全国囲碁大会の案内が事務局に届いております。
- ②国際ロータリー大会の昼食会等の具体的な案内が来ておりまますので興味のある方はご参考ください。

## 委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 78名 (内出席免除者 15名) 出席者56名	
出席対象者 49／63名	出席率 77.78%
欠席者22名(病欠者0名)	前々回修正出席率 100 %

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 榎原 義嗣君 卓話のチャンスありがとうございます。  
青木 淳君 歌集の記事が掲載されてから2日間、わが家の電話が鳴る止むことはありませんでした。即完売となりました。入手出来なかったひとごめんなさい。林きみさんのファンの多さと短歌の持つ力を再認識しました。  
杉浦 勝典君 亡母の会葬のお礼を申し上げます。  
3月5日NHK夕方チャンスのわがまち自慢に生出演しました。樅山善久さんの代理の出演でした。高浜市の町自慢でしたが、粘土瓦のPRをさせて頂きました。  
加藤 知彦君 碧老会報第38号特集号の表紙画を飾らせて頂きました。  
大原 久宣君 先週12日、碧南火力4・5号機の完工式を執り行うことが出来ました。足かけ5年余にわたる建設工事を無事終えることが出来、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

早退 3件 合計22,000円

## 卓話

『昔話しー44年間』 会員 榎原義嗣君

碧南ロータリークラブは創立以来45年目になりました。10年ひと昔という言葉からすると大きな時代の変遷の中でクラブの活動を続けてきました。

例会場も木造の商工会議所、けんしんの本店前の会議所、そして今の新しい会議所のホールへと変わってきました。ロータリークラブはその間常に「奉仕の理想」をターゲットとして不変の姿で続けられて来ました。

一方地元「碧南市」では衣浦港の造成、臨海部の発展に伴い飛躍的な発展が続き、今や全国的にも屈指の豊かな街となっております。そんな45年の中で一度振り返って見ました。私は昭和36年に卒業後、安藤建設に入社し、現場監督として昭和37年の8月、瀬戸市道泉小学校の現場作業に就いていましたところ、見合いの話があり、名古屋にて両親共々見合いを致しました。真面目でありましたので両親のすすめもあり、一回目の見合いで今の家内と結婚しました。結婚式は、おばの取引関係ということで蒲郡の観光ホテルにて神前結婚式がありました。ホテルでの披露宴は当時の結婚の形としては新しい様子であったと思いました。私の子供の頃の思い出では嫁入りは夕方に婿の家にお嫁さんが入り、自宅に披露のお膳がならび、正面のお嫁さんを中心に宴が始ま

り、「オサカナコレニ」のかけ声も面白く子供達は窓側からのぞいて「嫁ボロ」を貰うのを楽しみに祝言をながめておりました。ナイショ酒で結納となり、祝言は婿入りに始まり、自宅での三々九度と親族固めの盃のあと、披露宴となったようです。嫁入り用のチョウチンも昔は家の鴨居の上に納めてあった記憶があります。

さて私共の時代から子供の時代になりますと、まさに戦後でありまして、恋愛結婚が常識となって来ました。しかし私の家ではまだ父母が健在であり、長男は見合いで結婚を致しました。仲人といわれるところへ書付や写真を届けますと、そこには適齢期の男女のものが揃っており、その仲人の人の斡旋で見合い、そして交際の上結婚となつたわけであり、長男の場合も6～7回の見合いで決まりましたので私は結婚については以後の色々なおつきあいもあり、それなりの条件も必要であろうと思っております。また親権というと古いようですが、やはり親の務めとして子供の将来の事について責任があると思っております。それが最近ではまさに恋愛中心であり、仲人も立てない子供達だけで結婚を決めるような形が増えてきました。親の存在がこの社会から薄れてきたようで残念で仕方がありません。

さて結婚という儀式について三つの形を申上ましたが、実は碧南ロータリークラブのメンバーの中でもこの三つの世代のかかわりがあり、それぞれの価値観の相違があります。「奉仕の理想」はターゲットであります。メンバーライフこそクラブの財産であり、メンバーの交流こそロータリーの価値と考えておりますので以上三世代の価値観をそれぞれ理解しあいながらお互い「老」「壯」「青」のバランスをとつて素晴らしいクラブに45年を結びつけていきたいと思います。さらに創立を振り返って見る時、チャーターメンバーの若々しい行動とエネルギーによって碧南クラブが誕生し、45年の歴史が刻まれ、多くの優れた先輩各位によって伝統が守られてきました。私達はそれぞれの価値観を持ってクラブに参加しておりますが今一度、一人一人の目で碧南ロータリークラブを考えてみては如何でしょう。会長、幹事以下それぞれの役職があり、R I の会長方針を基にして事業は行われております。しかし一方会員一人一人はこの碧南クラブにおいてどんな形で貢献されておられるのでしょうか。昼の食事を例会で食べて終りということではないと思います。碧南クラブは各員一人一人の参加によって支えられており、決して会長幹事の組織ではありません。一人一人が参画することによってこそその組織の価値と意義があると考えます。会員増強問題においても、一人委員長又は委員会に任せのではなく自分達の組織を自分達で盛り上げて行く、近い将来50周年に向けてより充実した組織にしようと一人一人の力の結集こそ大切であり、人任せの会員ばかりであったらこの組織は減退してしまい50周年も夢物語になってしまう恐れだってあるのです。先輩の築かれた信頼を一人一人の真剣な参画によって未来の碧南ロータリークラブを目指していただきたい。44年の歴史の中で時代の変遷と価値観の変化の中で碧南ロータリークラブの伝統を守り築き上げて行く事が大切であります。

本年は何かとお世話になります。

次回例会案内／4月2日（水）「タンゴの魅力」  
タンゴダンサー 新垣カロリーナ氏

